

平成27年度「まちづくり懇談会」意見交換概要

1. 開催概要

今年度のまちづくり懇談会は、10月6日から11月13日まで、小学校区域を基本に市内10会場で実施されました。

主催者挨拶、名寄市長挨拶の後、市からのお知らせとしてマイナンバー制度について総務部長より説明頂きました。本年度は、意見交換の際に市からの話題提供として「人口減少社会への対応について」と「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について」を提示いただき、意見交換を行った後、日頃の市政に対する質疑・要望などについて、市の各担当部局長から回答をいただきました。

各会場での参加状況や皆さまからの質疑・要望については次のとおりとなっています。

2. 開催次第

1. 開 会

2. 主催者挨拶 名寄市町内会連合会会長 中 村 雅 光

3. 市長挨拶 名寄市長 加 藤 剛 士 様

4. 市からのお知らせ

①平成26年度 名寄市の台所事情 総 務 部

②防災対策について 総 務 部

③名寄消防署からのお知らせ 消 防 署

④マイナンバー制度について 総 務 部

5. 意見交換

1) 市からの話題提供

①人口減少社会への対応について

②名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）の概要について

2) 市政への提言・意見・質問など

6. 閉 会

3. 開催日時・会場及び参加状況

	日 時	場 所	区 域	対 象 町 内 会	H27 参加人数
1	10月6日 (火) 18:30~	名寄市役所 4階:大会議室	名小	2区・第3区・4区・第6区・9区・10区・ 11区・西12区・東12区・北新区・ 旭東北区・北斗区・新北斗団地・日進・ ノースタウン	14人
2	10月13日 (火) 18:30~	東小学校 2階:多目的ホール	東小 中名寄小	第13区・第14区・旭栄区・旭東区・ 高見区・緑丘区・農高区・中名寄	12人
3	10月26日 (月) 18:30~	東風連子供と老人 福祉館	東風連 風連旭	東風連・風連旭	21人
4	10月27日 (火) 18:30~	日進コミュニティ センター	風連日進 風連旭	風連日進・風連旭	31人
5	10月30日 (金) 18:30~	地域交流センター 2階:大ホール	中央小	風連中央区・風連南区・新大町・風連北栄・ 風連西区・風連2区・風連豊里・ 風連アカシヤ	20人
6	11月4日 (水) 18:30~	福祉センター 1階:多目的ホール	南小	1区・7区・8区・15区・16区・第18区・ 鉄道区・旭ヶ丘区・南が丘区・徳田区・ 麻生・豊栄区・共和・曙・弥生・ マーガレット・サンピラーなよろ	21人
7	11月9日 (月) 18:30~	文化センター 1階:大会議室	西小	南5区・北5区・17区・第19区・20区・ 21区・寺町区・大町区・大橋区・ 大橋商工団地・砺波・内淵・瑞穂	9人
8	11月11日 (水) 13:30~	智恵文支所 2階:多目的ホール	智恵文	八幡・智北・更生・振興・中央・瑞和・ 親和・智西・智南・南	16人
9	11月12日 (木) 18:30~	文化センター 1階:大会議室	豊西小	栄町区・西町1区・西町2区・西町3区・ 中島区	11人
10	11月13日 (金) 18:30~	瑞生コミュニティセンター	下多寄小	下多寄・西風連	21人

合計 176名

4. 懇談会質疑内容

質疑項目

- I マイナンバー制度について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- II 市からの話題提供（人口減少社会への対応についてと総合戦略について）・・・・ P 8
- III 市政への提言・意見・質問など・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

I マイナンバー制度について

(1) 高齢者の利用について

個人カードの申請は、高齢者には不要とを感じるが、高齢者がカードを使う頻度はどれくらいあるのか。また、高齢者に対する周知方法について教えていただきたい。

【10/6 名小地区・11/4 南小地区・11/12 豊西小地区】

回答：総務部長

個人カードの申請・取得については、あくまでも任意での取得となるが、個人カードについては、身分証明書になるため取得しておいた方が便利である。

高齢の方に対しては市の広報誌による周知だけでなく、福祉関係の事業者に対してマイナンバー制度について説明させていただき、高齢者のお宅を回る際にマイナンバー制度について説明をしてもらうようお願いをしている。また、介護保険のお知らせと一緒にマイナンバー制度についてのお知らせも一緒に配布しており、今後も様々な方法でお知らせしていきたいと思っている。

(2) 再発行について

無くした場合、再発行は可能か。

【10/6 名小地区・10/13 東小・中名寄小地区・10/27 風連日進蓄地区・10/30 風連中央小地区】

回答：総務部長

無くした場合は再発行が可能。初回の発行手数料については全額、国が負担してくれるが、本人の責任でなくしてしまった場合は、手数料を負担していただくことになる。

(3) カードの更新について

個人カードの申請は毎年顔写真をつけて更新しなければいけないのか。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：総務部長

20歳以上は1回の更新で10年間使用可能。20歳未満の場合は、容姿がかなり変わる可能性があるため、5年間使用可能である。

(4) 行政サービスについて

マイナンバー制度が始まることによって具体的にどのような行政サービスが受けられるようになるのか。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：総務部長

平成28年の時点では市町村の中だけでの使用にとどまるが、今後、北海道や国とマイナンバーによる連携が図られた場合に利便性が最も高まると思う。今まで行政サービスを受ける上で提出していた書類で省略できるものが出てくるので、そこで利便性を感じられると思われるが、残念ながら平成28年の時点ではそこまでできないのもう少し時間をいただきたい。

マイナンバーカードは公的な身分証明書になるためそういった面ではすぐに利便性が高まると考えられる。

(5) 委任制度について

マイナンバー制度では委任ができるのか。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：総務部長

具体的な部分についてはまだはっきりしていないが、委任できると思われる。

(6) 所得について

平成27年度の所得からマイナンバーが活用されるのか。

【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：総務部長

マイナンバー制度の活用は平成28年1月からを予定しているので、平成28年の収入から活用される。所得に関する詳しいことは税務署から通知が来るとと思われるので、お問い合わせさせていただきようをお願いしたい。

(7) 子どものマイナンバーカードの申請について

子どものマイナンバーカードの申請の際にも写真を添付する必要はあるのか。

【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：総務部長

住民票がある方全員に通知カードが届くようになっており、乳児からお年寄りまで全ての方に、通知カードは配布される。有効期限は20歳以上を10年、20歳未満を5年間としている。しかし、5年後、10年後に個人カードの更新方法がどのようになるのかについてはまだ決まっていない。

(8) マイナンバー制度に関する詐欺について

報道等でマイナンバーに関する詐欺があると聞いたのだが。

【10/26 東風連・風連旭地区・10/27 風連日進地区】

回答：総務部長

基本的に市役所からマイナンバーに関する照会はしないので、怪しいと思ってほしい。個人カードの申請は任意なので、活用する見込みがなければ申請しなくても構わないが、個人カードは身分証明証として活用できるので、取得されることを勧めている。

(9) 受け取り拒否について

マイナンバーを拒否することはできないのか。

【10/27 風連日進地区・10/30 風連中央小地区・11/11 智恵文地区・11/13 下多寄・西風連地区】

回答：総務部長

マイナンバーは住民票を有する全ての方に付けられ、通知カードは本人の意思とは関係なく、書留で送られる。さらに、便利に使うために個人カードの申請を行う必要がある。申請は任意であるが、取得していただく方が便利になるため、市としては取得することを推奨させていただいている。

(10) 個人カードの顔写真について

個人カードにつける顔写真はどのように撮り、送付したらいいのか。

【10/27 風連日進地区・10/30 風連中央小地区】

回答：総務部長

写真は通知カードと一緒に入っている返信用封筒に入れて送っていただきたい。

(11) マイナンバー制度によるメリットについて

マイナンバー制度によるメリットについてご説明いただきたい。 【10/30 風連中央小地区】

回答：総務部長

マイナンバー制度導入により、どのような認定・制度を受けているのかがわかるようになる。そのため、市役所にきて様々な窓口を回る必要がなくなる。また、本人が気づいていなくても受給の権利を持っているかどうかにもすぐにわかるようになる。さらに、いろいろなところで使用の検討がなされていることから、今後用途は広がっていくだろうと考えられる。平成28年1月からの利用は名寄市役所内だけの利用となるが平成29年の7月以降、国・道とつながるため、さらに利便性上がると考えられる。

(12) セキュリティについて

マイナンバー悪用に対応するセキュリティシステムについて教えていただきたい。

【10/30 風連中央小地区】

回答：総務部長

マイナンバーをサーバーから出すことは大きく制限され、使用するパソコンについてもパスワードつけて管理することとしている。また、電話等による個人番号の照会をする怪しい電話があったら、市役所に連絡してほしい。

(13) 通知カードの処理について

高齢者にとって理解しづらい制度であると感じるので、個人カードを申請しないことが考えられる。送られてきた通知カードを自分で処理しても問題はないか。 【10/30 風連中央小地区】

回答：総務部長

マイナンバー制度には個人のマイナンバーをお知らせする通知カードと、申請をして取得する個人番号カードの2種類がある。個人番号カードの申請は任意なので申請しなくても問題ない。個人番号カードが必要になるまで、申請を待つのも手であるが、通知カードは大切に手元に持っていて欲しい。

(14) 通知カードの有効期限について

通知カードに有効期限はないのか。

【10/30 風連中央小地区】

回答：総務部長

通知カードは顔写真がないため、有効期限はない。

(15) 青色申告とマイナンバーについて

青色申告にも個人番号が振られているようだが、平成28年1月からはマイナンバーの方を使うようになるのか。

【11/4 南小地区】

回答：市民部長

平成29年からの申告は、マイナンバーを入れないといけなくなるだろうと思われているが、平成28年1月の時点では厳格に提出を求めないだろうと思われる。今回の申告ではわかる人のみの記入となる。

(16) マイナンバー登録について

マイナンバーを登録することに責任等はあるのか。町内会としてマイナンバーの登録をしているか、していないか把握できないと思うが。

【11/4 南小地区】

回答：総務部長

マイナンバーは個人の意思とは関係なく付けられ、名前、生年月日、番号が記入された通知カードが書留により郵送される。もしも町内会に相談があれば、相談にのってあげてほしい。

(17) マイナンバー制度と成年後見人について

成年後見人がいる場合はどこに配送されるのか。

【11/4 南小地区】

回答：総務部長

家族と一緒に住んでいたら、その家に届くようになっている。

(18) 通知カードの郵送方法について

通知カードの郵送は世帯ごとにされるのか、それとも個人ごとにされるのか。世帯に対して郵送される場合は中身の確認はどのような対応となるのか。

【11/9 西小地区】

回答：総務部長

世帯ごとにまとめて郵送され、家族の人数分が1つの封筒の中に入っている。

(19) マイナンバーの変更について

マイナンバーは変えられるのか。また、再発行時には番号が変わるのか。【11/9 西小地区】

回答：総務部長

再発行の手続きを行ったとしても、マイナンバーは変わるものではなく、本人の固有のものであるため個人の希望ではなかなか変えられない。

(20) 通知カードの受け取りについて

マイナンバーの通知カードの入った簡易書留が届いた際、家族のだれが受け取ってもいいのか。【11/9 西小地区】

回答：総務部長

通常の簡易書留は家族の受け取りは可能であるが、通知カードの書留は原則、宛先の人（世帯主）が受け取ってほしい。

(21) 無料期間について

個人カードを申請する際、初回は無料とあるが、無料期間はいつまでなのか。【11/11 智恵文地区・11/13 下多寄・西風連地区】

回答：総務部長

個人カードの申請は無料であるが、無料期間がどのくらいなのか今のところわからないので詳しいことがわかり次第、市の広報等通じてお知らせしたい。

(22) 新しく生まれた子どもについて

新しく子どもが生まれたらいつの時点からマイナンバーが交付されるのか。【11/12 豊西小地区】

回答：総務部長

今送られているのは今年10月時点で住民基本台帳に記録のある人に対して送付している。10月以降に生まれた子どもについては、順次番号が振られ、送られてくる。

(23) マイナンバーが流出した際の対応について

先日、マイナンバーが誤配送によって漏れる事件があったが、誤配送があった際には新たに番号を交付するのか。マイナンバーは市町村単位で番号が振り分けられるのか。また、家族は連番になっているのか。【11/12 豊西小地区】

回答：総務部長

12ケタのマイナンバーはバラバラが基本であるが、誤配送があった場合は本人の希望により変更できる。通知カード、個人カード等を紛失するなど漏えいの恐れがある場合は番号の変更は可能なので、不利益が生じないように対応していきたい。

Ⅱ市からの話題提供（人口減少社会への対応についてと総合戦略について）

（１）総合計画策定について

総合計画策定は任意になったと聞いたので、総合計画と同じような内容の総合戦略を作る必要があるのか、という感想をもった。また、総合計画は法的につくらなければならないわけではないので、作る必要があるのか。 【10/6 名小地区】

回答：橋本副市長

今までと違う点が1つあり、それは数値目標（KPI）を掲載している点である。総合計画は平成29年度からであるが、それに先行して人口減少問題にスピード感をもって取り組むものが総合戦略であるという認識である。総合計画に関しては名寄市の最上位計画であるので、今後も作っていかなければならない。

回答：久保副市長

総合計画については、名寄市の自治基本条例の中で作成することと定めており、名寄市として策定すると決めているということになるので、ご理解願いたい。

（２）人口減少問題について

人口減少については国レベルの問題であり、名寄市だけではどうにもならない問題と考えるのだが。 【10/6 名小地区】

回答：橋本副市長

地方分権の次に、地方創生の話が出てきていることを考えると、国が地方に対して積極的に関与することから一歩引く形に変化してきているという印象がある。そのような状況の中で、地方がどのようなことをやっていくかが、重要になってきている。

（３）企業誘致について

産業振興、企業誘致の強化が必要だと思うが、どう考えているか。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：経済部長

産業振興は名寄市の基幹産業の農業を含め、必要であると考えている。企業誘致は現状では難しく、起業者も少ない状況ではあるが企業誘致を進めるため、総合的な施策を庁内で検討をしているところである。新たな施策として、市外から来る方への支援はもちろん、商店街に関して新たな取り組みに対する支援策をまとめており、11月を目途に作業を進めている。その後皆さまにご議論頂く予定である。

回答：橋本副市長

補足であるが、農業分野において新規就農や農産物のブランド化などを総合戦略に示している。人手不足が深刻な建設業、医療・福祉の人材確保には数値目標を示し取り組んでいきたいと考えている。

(4) 退職後の高齢者の定住について

退職後、すぐに転出していく方が多いと聞いているが実際の傾向について教えて頂きたい。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：企画課長

人口ビジョンを策定する際、退職者が定住・転出しているかについて調査したが、退職を機に転出する方は、それほど多くはなかった。退職を機に転出される方よりも介護の問題などで子どもや施設への入所などで転出される方が、傾向として多かった。総合戦略の基本目標3で「ここで育て、ここで育ててよかったといえるまち ここで住み続けたいと思うまち」を掲げ、子どもを産み育てられる環境整備と元気な高齢者が活躍できる環境づくりを進めることを目標としている。少子高齢化が進むなか、退職世代でも元気に名寄市で過ごしてもらえるよう、仕事や文化、教育に触れる機会を得られるよう環境づくりを進め、地域に貢献していただけるような施策を実施していきたい。

(5) 子育てに関して

自然減は少子高齢化の影響もあり、避けられないと思うが、社会減は減らせるのではないと思う。総合戦略の基本目標3「ここで育て、ここで育ててよかったといえるまち ここで住み続けたいと思うまち」の子育てと仕事の両立の推進、子育て家庭への支援の推進という項目は、既に近隣の市町村では対策がされている状況と思う。また、医療費についての助成を拡大するなどの経済的負担の軽減を謳っており、とてもありがたいが、小学生も全額負担など、もっと思いきった策に出てほしい。一般生活をする上での負担がふえ、子どもを育てるのは難しいので、子育てに関する策をぜひ行ってほしい。また、保育料がとても高いと感じる。地方創生に関しては、若い母親への支援は人を呼び込む一つの方法になるのではないと思う。母親たちの情報力、発信力は強く人を呼びこむ力になると思うのでぜひ考えてほしい。

【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：健康福祉部長

母親の意見を聞かせてもらう機会を作っていきたい。子育て支援センターがオープンするので、ここでも要望を伺っていきたい。

(6) 総合戦略の検証について

総合戦略の中で5つの基本目標が示され、これから実行していくものと思うが、結果の検証をして頂きたい。

【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：総務部長

貴重な提言をいただけてありがたい。総合戦略はPDCAで検証していくことになっており、毎年市民の皆さまによる有識者会議で総合戦略の結果について考えていただく。その結果については広報・ホームページはもちろん、それ以外の方法もないか考えていきたい。

(7) 人口減少問題に対する行政としての責任について

10年前(平成17年)のまちづくり懇談会で島市長は、人口が3万7千人であると言っていたが、合併から10年経つと、「人口減少で困っている」と騒ぐようになった。合併時から人口が減ることは分かっていたのに、10年間何もしていなかったのか。行政としてどう責任をとるのか、お聞かせ

願いたい。また、名寄市立大学を卒業した学生が生活できる環境（仕事等）を作ることが大切だと思う。人口減少を止めるには、学校が近くにあること、保育所が近いことが大切であると思う。また、学校の敷地内に先生が住めるところを作ってほしい。 【10/27 風連日進地区】

回答：久保副市長

人口減少問題は日本が抱える問題である。各自治体によって施策を行ってきたが、急激な人口減が進んだことにより施策が追いつかなかったこと、社会構造が変化したことで人口が減少してしまった。10年前の時点では、まちづくりをする上で、ここまで人口が減少するとは見込んでいなかった。その責任をだれが取るかについて答えるのは難しい。

（8）高齢者の活躍推進について

高齢者が活躍できる環境の推進とは具体的にどのような方針なのか。

【10/30 風連中央小地区】

回答：こども・高齢者支援室長

高齢者が元気で暮らしていける仕組みづくりとして、例えばサロンに来てもらう等の施策を行っていききたい。また、介護が必要な方に対する支援の仕組みづくりとして、要介護度がより重い方を専門職が行い、軽い方についてはお互いに介護を行っていく等したい。

（9）出生率をあげる方針について

出生率をあげる方針は具体的にどのようなものか。

【10/30 風連中央小地区】

回答：こども・高齢者支援室長

以前より風連地区には、さくら保育園の子育て支援室があったが、名寄地区にはなかったので今年新しく作り、現在多くの親子に活用頂いている。子育てコンシェルジュを配置したので、母親の声を聞き、施策を行っていききたい。また、名寄は転勤者が多い等の事情により母親が孤立しやすい環境があるので、母親が集まれる場所として活用していききたい。

（10）総合戦略の重点施策について

これからの施策の中での目玉は何になるのか。人口の約20%が高齢者となるので高齢者が安心して暮らせる施策を盛り込んでほしい。 【11/4 南小地区】

回答：加藤市長

総合戦略は人口減少に歯止めをかけるための重点施策をまとめたものである。中でも重要施策として3つあげさせていただいた。1つめは大学についてである。人口3万人規模の市で大学をもっているのは珍しく、誇れる点の一つである。保健福祉について学ぶという大学のノウハウを伸ばして、医療福祉を改善したい。大学生の在学中に名寄市に貢献してもらったり、卒業後も名寄市で働ける環境を整えたりしたいと考えている。2つめは、冬季スポーツの拠点化についてである。現在、冬の大会は、北海道に頼られている状況であり、名寄開催の大会も多いため、選手育成にも力を入れたい。3つめは基幹産業の発展である。もち米、アスパラの付加価値付けや担い手の育成に力を入れ、これを柱に活力ある仕事を作りたいと考えている。高齢者については総合計画で触れると共に、地域福祉計

画も作成したいと考えており、市民懇談会を開催している。高齢者が元気に生活できるよう計画を作りたい。

(11) 花嫁対策について

花嫁対策について考えてほしい。出会いの場が少ないので名寄大学の学生と合同パーティーを行ってはどうか。 【11/4 南小地区・11/13 下多寄・西風連地区】

回答：経済部長

40代の独身者は多い。花嫁対策については市でできること、JAでやれることを考えていきたい。

回答：橋本副市長

花嫁対策について農家の方とディスカッションを行った。農家の方については、花嫁はもちろん、人手がほしい状況であり、魅力のある農業、仕事として成立する農業を目指し解決の方向に向かいたい。

回答：久保副市長

農業の魅力アップには収入増も大切。そのことが心の「余裕」につながる。出会いの場についても、名寄大学と連携したグリーンツーリズムの受入や、様々な場面で出会いを作って行けるよう仕掛けを考えたい。

(12) 障害者に対する支援について

総合戦略の中にもっと障がい者に対する支援等を盛り込んでほしい。 【11/9 西小地区】

回答：健康福祉部長

もっと障がい者の方と共生する社会を作れるよう努力したい。

Ⅲ 市政への提言・意見・質問など

(1) 国勢調査について

国勢調査をする中で、地方交付金と国勢調査の関係をきちんと理解している市民が少ないと感じた。広報等でも国勢調査はとても重要な調査であることを周知してはいるかと思うがもっと市民に浸透してほしいと感じた。また、調査員を長くやる中で、国勢調査に協力的な人が減ってきたようにも感じるので、調査のしやすい環境づくりをお願いしたい。 【10/6 名小地区】

回答：橋本副市長

人口減少問題、総合戦略について、市民の皆さまとの話し合いが重要であったが、今回総合戦略を策定するに当たり、市の周知が足りなかったのではないかと反省している。広報・ホームページ等でお知らせしているが、それだけでは市民の方に十分に伝わっていないのが現実である。直接ご説明させていただき、そこで貴重な意見をいただくことも大切だと考えている。

(2) 特別支援員の配置について

特別支援推進に関するカリキュラムの中で、「児童ひとりひとりに合わせた教育プログラム」という文言があるが、中学校ではまだ不十分であると感じるため、特別支援員の増員を望む。また、管理職や赴任された先生に対して定期的に前年度の取り組み等についての研修を行う必要があると感じる。若い人や新しく来た人が働きやすい環境づくりを整備することが、まちづくりの一環となるのではないか。 【10/6 名小地区】

回答：教育部長

特別支援員は平成25年には9名だったが、19名となり10名増加となった。配置は市の予算で配置されるものであるので、すぐに配置できるようなものではないが、学校の状況を考えながら配置について考えていきたい。特別支援学級の先生は配置基準によって配置されているが、手が行き届かない部分に対し特別支援員を配置している状況である。個々のニーズに対応することは大事なことで学校とも協議しながら学校への支援体制をしっかりと作り効率的に進めていけるようにしたい。

(3) ホームページについて

広報やホームページ等はデータや内容が変わった場合、速やかに変更するなど正確な情報を市民に伝えるべきである。 【10/6 名小地区】

回答：橋本副市長

我々も確認したい。正確な広報、市民の方への周知方法について庁内で話し合っていきたい。

(4) 広報について

何年か前に広報誌面に市の職員が登場していておもしろいと思っていたのだが、やめてしまったのはなぜか理由があるのか。若い人が広報に登場することで、若者や小学生にも興味をもってもらえるのではないかと思った。 【10/6 名小地区】

回答：総務部長

特に問題があったわけではない。市としては、どうしたら広報を多くの方に興味を持って読んでもらえるのか努力しており、誌面では名寄市のキャラクター「なよろう」が登場したり、ホームページの職員募集のところでは若い職員が自分たちのコメントを出したり工夫している。貴重なアドバイスとして検討したい。

(5) 高齢者の薬の飲み方について

ほとんどの高齢者が複数の調剤薬局を使用しており、お薬手帳の使い方や薬の副作用、飲み忘れ等の指導を窓口以外（患者の自宅等）で行う取り組みを市として行えないか。社会福祉協議会でも薬に関する指導を行っているが、手が行き届いていない状況である。他の市町村では民間の調剤薬局が直接患者さんの所まで行って直接指導しているところもあると聞いたので、名寄市も訪問指導をおこなうなどしてはどうか。

【10/6 名小地区】

回答：健康福祉部長

調剤薬局は民間であるため、強制はできないが、協力いただきながら、薬の飲み忘れや副作用についての指導をお願いしていきたい。調剤薬局に対し服薬管理等のお願いをしているが、なかなか1人ひとりの所に市の職員が行って服薬の管理をするのは難しい状況である。また、名寄市でも調剤薬局を一軒に絞っていただき、その調剤薬局の薬剤師が主治医のように服薬管理や指導等に取り組んでいるところもある。市の包括支援センター職員による出前講座的な感じで、薬の飲み方等について説明させていただくことも含め検討させていただきたい。

(6) 閉校後の豊西小学校の利用について

平成28年3月に豊西小学校が閉校となることに関し、体育館と校舎の一部を残してほしいとの声がある。雨天時にパークゴルフやゲートボール等ができる施設として体育館と校舎の一部を開放してほしい。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：教育部長

既存の校舎は現在の耐震基準を満たしていないため、活用する場合には耐震工事が必要となる。耐震工事には多額の費用がかかるが、有効な活用方法を見出すことができれば耐震工事を行い利用することも考えられる。方向性については、今後総合計画の中での議論となると思うので市民の皆さまからもご意見をいただきたい。

(7) 雪質日本一フェスティバルの開催について

今年、南広場、親林館が改修されたが、従来どおり南広場での雪質日本一フェスティバルの開催は可能なのか。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：健康福祉部長

親林館を子育て支援センターに改修した。親林館はもともと雪質日本一フェスティバルの際に自衛隊や国際雪像の方々が利用していた。駐車場の新設によりスペースは狭くなったが、規模的には今まで通り変わらず開催できると考えている。

(8) コミセンの畳の表替えについて

コミセン和室の畳が傷んでいるので更新してほしい。また、座テーブルが壊れているので、確認して直してほしい。 【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：橋本副市長

現地確認させてもらう。

(9) 福祉センターの利用料金について

福祉センターの使用料が高すぎると感じる。市民に開放するためにも、もう少し安くてもいいのではないか。福祉団体と一般の利用料の差も大きいと感じる。また、利用頻度についても教えて欲しい。

【10/13 東小・中名寄小地区】

回答：健康福祉部長

福祉センターは、福祉活動の拠点という位置づけで建設されたこともあり、申請をすれば福祉関係団体は無料、教育関係団体は半額で利用できる。

利用頻度はかなり高く多くの方に利用していただいております、平成26年度の利用人数は46,769人でした。ご意見は今後の施設運営・管理を検討する際の話題とさせていただきます。

回答：橋本副市長

現在、施設使用料について市の行財政改革推進実施本部において、どのような基準が適切なのかを検討している。

(10) デマンドバスの運行について

東風連地区にデマンドバスを運行して欲しい。路線バスはバス停まで遠いこともあり高齢者には、利用しづらい。高齢化が進み、車を運転できない人が増えている。こまめにデマンドバスを走らせてほしい。 【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：総務部長

デマンドバスは下多寄地区と名寄市街間を走っている。バス路線（下多寄線）が廃止になる代わりにデマンドバスにして、利便性をあげられたが、あくまでも限定的なものであり、バス路線の廃止が条件となる。東風連地区についても検討しているが、既存のバス路線があることがデマンドバス運行のネックとなっており、既存のバス路線と重ならないように東風連地区をカバーできる路線を今のところ考えられていない。さらに良い方法がないか検討したい。

(11) 高齢者住宅について

ケアハウスに住んでいる人を街に住んでもらってはどうか。公営住宅に空きがあるような話を聞いているので、そこに住んでもらったらどうか。郊外に住んでいるよりも、移動手段等の面で便利なのではないか。 【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：久保副市長

貴重なご提言として受け止めたい。生まれ育った土地に最後まで居たいという気持ちは大事にした

いので、提言として受け止めたいと思う。

(12) 名寄市の農業について

名寄産業高校には酪農科があるが、学生が減ってきたこともあり、学生たちが農業に接する時間がもう少しあってもいいのではないかと感じる。農家の方から直接話を聞ける機会をもっと作っていただき、農業の魅力を伝えたい。また、名寄市は道北最大の農業地帯なので、農業大学があってもいいのではと思っている。農業は今、後継者不足に陥っており、農家の労働力不足が出てきている。若い人が農業を研修する仕組みがあってもいいのではないかと思う。農業に対する取り組みや仕組みを農家・JA・市で協力し市をあげて作れば、魅力ある名寄市になるのではないかと思う。

【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：大学事務局長

大学生の農業体験に関して今後、質・量ともに充実させるため、頂いたご意見を持ちかえらせていただきたい。今まで連携教育をやっていたが、社会保育学科ができることも合わせて、もっと踏み込んだ連携教育として「地域との協働」を進めようとしている。

また、コミュニティケア教育センターという、地域交流センター、道北地域研究所を統合した組織ができるので、より地域との関わりを深め、定住自立圏を構成する13市町村とも連携しながら大学がどのように地域貢献できるのかを検討していきたい。

回答：経済部長

受け入れ態勢等含め、近々の問題として考えたい。特に夏場から冬場にかけてどのような研修をするかを考えたい。道東の方では、地域の他産業から就農する仕組みづくりがされている。また、農業が魅力ある産業だということが広く伝わっていないと部分もあるので発信していきたい。総合戦略でも、担い手づくりは重要項目であるとしている。農家・JA・市でしっかり連携して考えていきたい。

(13) 25線の補修計画について

25線の補修計画はないのか。

【10/26 東風連・風連旭地区】

回答：建設水道部長

舗装道路の再改修工事は、東8号、東5号を当面予定しており25線について計画はしていない。今後も引き続き、緊急性の高い路線から事業を進めて行く。

(14) 日進地区の保育所について

日進保育所は再開できないのか。地域に何人子どもがいたら再開できるのか。

【10/27 風連日進地区】

回答：健康福祉部長

日進地区の保育所については、子どもの数が少なくなってきたことから、地域と相談のうえ、さくら保育園と統合させていただいた。日進地区からさくら保育園へ通う場合は遠距離通園ということで、助成させていただいている。現在の状況から考えると再開は難しい。保育施設の運営には保育士の配置を含め運営が可能な体制について総合的に検討しなければならないため具体的な人数についての

回答は難しい。

(15) 5番通りと9線の木橋の整備について

農業機械の大型化により、5番通がしっかり整備されていないと機械が通れない状況にある。また以前より、9線の木橋の整備に関しても要望しているので、5番通・9線の木橋と合わせて整備をお願いしたい。 【10/27 風連日進地区】

回答：建設水道部長

9線の木橋に関しては現地を確認させていただき今年施工を行っている。これは、機械の大型化とも関係あるので実態調査をしたい。すぐに施工することは難しいが、農業部門との調整も含め検討していきたい。

(16) GPS基地局の建設についてと除雪について

農業機械が最近進化しており、GPSを使ってかなり高い精度での自動走行が可能となった。この技術を除雪等にも応用できるのではないかと思うので、GPSの基地局を作って欲しい。また、除雪の際には、雪の塊を道路の真ん中に置かないで欲しい。 【10/27 風連日進地区】

回答：久保副市長

調査検討させて欲しい。

(17) 市内公共施設の稼働率についてと日進コミュニティセンターの設備について

文化センター、スポーツセンター、市民会館等の年間稼働率を教えてほしい。また、日進コミュニティセンターにジェットタオルをつけほしい。 【10/27 風連日進地区】

回答：教育部長

エンレイホールは、市民会館で行っていた事業・行事等を行っているが、エンレイホールには会議室がないので、文化センター、よろーなも利用されている。施設が増えたというよりも、古い施設を代替した状況である。エンレイホールの利用率は高まっており、さらに高めるために頑張りたい。スポーツセンターは若干利用者が落ち込んでいるが、エンレイホールによる影響はない。

(18) まちづくり懇談会のホームページについて

まちづくり懇談会の内容をホームページ等でフィードバックしてほしい。【10/27 風連日進地区】

回答：久保副市長

対応させていただく。

(19) 防災マップについて

名寄市より配布されている防災マップ上では、東風連・風連旭・風連日進地区は浸水しない地区となっているが、どのように地域を決定しているのか。また、マップを配布するなら、広報と同時配布よりも直接住民に説明しながら配布したほうがよいのではないか。 【10/27 風連日進地区】

回答：総務部長

浸水想定調査を単独の市町村で行うのは難しく、国・道の想定を参考にマップを作成しているが、一部のデータがないため完全なものにはなっていない。過去に浸水した地域は示させていただいているので見ていただきたい。また、去年のまちづくり懇談会で防災について説明させていただいたが、出前トークでも防災関係を用意しているので、ぜひ活用していただきたい。

(20) 防災ラジオについて

防災ラジオが各町内会に配れており、風連旭町内会には3つ配布されているが、災害時には3つで足りるのか。これから防災ラジオを各戸に配布するのか、または別の手段で情報発信を行うのか、お聞かせ願いたい。 【10/27 風連日進地区】

回答：総務部長

防災ラジオを全戸配布にすると夜中に鳴ったりした際に混乱するのを避けるため、まずは3台で行うことになった。実際に運用していく中で台数については検証したいと考える。緊急時は、携帯電話への速報メール、ホームページ、災害が見込まれる地域については各町内会や自主防災組織の代表者に対して情報提供していく。

(21) FMアンテナの建設について

智恵文地区のようにFMのアンテナを建てて欲しいと要望していたが、その後どうなったのか。

【10/27 風連日進地区】

回答：総務部長

FMは公共性のある電波と考えている。智恵文地区は名寄局だけではカバーできないため建設した。以前は街なかにアンテナを建てていたが、電波の悪い地域があることから、現在は砺波から電波を発信している状況である。以前より高いところから発信しているため、改善したと思うが、電波の届きやすさが時期によって異なるので、1年を通じてどうなったか確認したい。

(22) 農業の後継ぎについてと保育所について

他の地域から就農のために後継者が戻ってきた場合に支援金的な対応はないのか。地域支援で入っている人には支援あるのに、戻ってきた人に支援がないのはおかしい。また、働いていないと保育所へ預けることはできないと言われたのだが、母親が妊娠しながら小さな子どもを育てるのは大変なので、その間預かって欲しい。 【10/27 風連日進地区】

回答：経済部長

農業後継者の対策は重要な課題と認識している。JAとも連携し考えて行きたい。

回答：健康福祉部長

保育所は新制度が始まったので、今年から求職活動中でも預けられるようになったが、妊娠していても小さい子どもがいる場合であっても、母親が自宅にいる場合には保育所に預けられない制度となっている。

(23) 道の駅の整備について

道の駅の直売所の東側と南側にシャッターをつけてほしい。

【10/27 風連日進地区】

回答：久保副市長

直売所の件については関係者で協議したうえで、現行のままの利用をお願いしている。再度要望が出ているのであれば関係者で協議したい。

(24) 防災について

昨年の大雨災害時、土嚢の材料がなかったので、砂利等の材料をおいておいたらどうか。また、風連別川の水が田んぼに逆流してしまったので、対策を考えてほしい。

【10/27 風連日進地区】

回答：久保副市長

土嚢の備蓄に関しては、検討させて欲しい。逆流については、建設水道部で樋門管理をする人と協議することになっているので現地確認も含め対応したい。

(25) 風連地区のゴミ収集について

風連地区町内会連絡会で「風連地区はステーション化されており、町内会の負担が大きい。効率的な部分を考えて、ステーションの存続について考えて欲しい。また、高齢化により、分別できない、ステーションが遠い等の不便が出てきているので地域の実態を考えての効率的な運営をお願いしたい。」といった内容の要望書を提出させて頂き、8月に回答をいただいたが、要望とは異なる回答だった。その後の9月議会でも担当部長から、8月の回答と同じ内容の答弁があった。その後、どのようになっているのかお聞かせ願いたい。

【10/30 風連中央小地区】

回答：久保副市長

ゴミ収集のあり方を含め、現実的に考え、検討させて欲しいと答弁させてもらった。これについては調査させてもらう段階なので、また改めて回答させて欲しい。

(26) 女性の活躍について

町内会の役員で女性役員がほぼいないのは問題であると思うので、もっと女性にも活躍して欲しい。

【10/30 風連中央小地区】

回答：加藤市長

町内会の中には、女性部を置いている町内会も多いかと思う。女性部は主に見守り、ネットワーク活動を行っていただいている。男女共同参画推進条例が平成28年4月に制定予定だが、女性がさらに社会参画していけるように、市としても女性の意見を取り入れながら、様々な面で意識をしていきたいと考えている。

(27) 高校野球の地区予選会について

高校野球の名寄地区予選会を名寄市営球場で行っていないのはなぜか。また、今後名寄で行う予定はないのか。

【10/30 風連中央小地区】

回答：加藤市長

高野連の基準を名寄市営球場が満たしていないため行っていない。球場を直すとなると億単位での改修となる。直近では球場改修の予定はないが要望があるのは知っている。現在全ての競技をフルセットでそろえられる自治体は少なく、広域で大会等を行う流れとなっている。

(29) 風連国保診療所における医師の配置について

風連診療所は、医師が2人いる状況だが、診察を朝から夕方まで行いながら、在宅介護で30人弱の患者を診ている状態で、さらに名寄市立病院でも診察をしていて大変そうなので医師の負担を軽くしてあげてほしい。 【10/30 風連中央小地区】

回答：久保副市長

風連診療所の医師には在宅医療も含め様々な面で協力してもらっており、名寄市の大事な医師であると認識している。市からの相談も含め、地域医療に対しても尽力いただいている。財政の許す範囲で負担が重くならないよう考えていきたい。

(30) 南大橋について

南大橋は補強されるのか。それとも回収されるのか。また、18線の大きな木が折れており、危ない状況である。 【11/4 南小地区】

回答：建設水道部長

木が折れていたことは知らなかったので、現場確認したい。南大橋に関して、今年度、工事を行う予定はない。来年度、橋の改修について委託設計の中で確認したい。

(31) 名寄市における特別学級について

特別学級に通う児童は、中学校への進学を機に旭川に出てしまうことが多く、就職も旭川ですることになっていく。中学校までは名寄市に住み続けられるような環境を整えて欲しい。また、福祉施策が盛んであれば、リタイヤ後の移住者が増える効果も見込めると思う。また、ウインタースポーツについてはパラリンピックにも目を向けて欲しい。 【11/4 南小地区】

回答：教育部長

小・中学校に関して名寄市内で学べる環境づくりを進めていきたい。しかし、専門性の高い養護学校に行くことが子どものためと考える保護者もいるので、相談していきたいと思う。特別支援員、学習支援員は現在19名おり、昨年より10人増員した。

回答：教育長

特別支援については保護者の考え方で変わり、より高い専門性を求める方は旭川に行く状況である。特別支援について小学校の指導は丁寧だが、中学校ではそうではないとの意見が数年前に出されたことから、特別支援学校教諭免許を持った教員を増やしていきたい。また、名寄市立大学でも免許は取得可能なので推進していきたい。

(32) 市内のケアハウスについて

ケアハウスなど、自立した生活が可能なお年寄りが暮らせる施設が市内にあるが、民間経営のものが多く、公営の施設は少ないと感じるので建設したらどうか。 【11/4 南小地区】

回答：子ども・高齢者支援室長

名寄市内には、50人規模のケアハウスがあり、爽風会が経営している。また、臨生会の「ケアハウス ノーデンス」があり、介護認定を受けながら、市内でケアを受けられるようになっている。高齢者福祉に関する計画の中では、国の補助金も活用しケアハウスの整備を検討していくこととしている。

(33) 大学生の生活について

市立大学生が、名寄市はコンビニエンスストアが少なく不便に感じると言っていたので改善してほしい。 【11/4 南小地区】

回答：橋本副市長

大学4年制にする際、学内にコンビニエンスストアの誘致を行ったが、断られてしまった。現在は学内に売店もでき、多少でも改善したのではないかと思う。

(34) 名寄市地域連絡協議会の補助金について

西小地域の安全・安心会議の構成員が53名のうち、西小地区の町内会長15名と防犯委員、民政委員が構成員として在籍している。西小の安全・安心会議の予算は少ない。もし活用できるのであれば、名寄市地域連絡協議会の交付金を活用したいので内容を教えてほしい。 【11/9 西小地区】

回答：総務部長

運営費は毎年固定の額で構成町内会の数に応じて算出している。事務費や会議のお茶代等に使ってほしいと考えている。活動費については全町内会の活動でなくても複数の町内会による活動であれば助成できる。活動の初年度上限額は10万円、2年目は7万円、3年目以降は5万円となっており、イベント等で活用してもらっているので、相談いただきたい。また、安全・安心会議については内容を精査させて頂きたい。

(35) 街区公園について

高齢化等により、公園の草刈りが難しくなっているので、市の方でもご支援頂きたい。

【11/9 西小地区】

回答：建設水道部長

日頃、町内会には公園管理などで大変お世話になっており、公園管理が町内会の中でどのような現状になっているか、現地を確認し町内会と行政とがお互いにどこまでできるか話し合いたい。

(36) 高齢者事業団の活用について

公園管理に関しては、高齢者事業団に頼ってはどうか。

【11/9 西小地区】

回答：橋本副市長

高齢者事業団の提言について、街区公園とのかかわりがあるので、春先に確認させてほしい。高齢者事業団においても仕事量のボリュームの調節が必要であると思うので相談させてほしい。

(37) 市職員の地域担当制について

保健センターは地域担当制なので、市の職員も地域担当制にしてはどうか。現在、名寄市では4人に1人が認知症であり、認知症の方への支援は地域担当制が効率的ではないか。今後、検討してほしい。 【11/9 西小地区】

回答：橋本副市長

要望として承りたい。

(38) 手話条例について

3月議会にて手話条例が可決されたが、第5条にある市の責務について説明してほしい。

【11/9 西小地区】

回答：健康福祉部長

以前から手話通訳者の養成事業を行っており、周りの市町村においても講習を続けている。手話の会の人に通訳を行ってもらっていたが、報酬が低かったため改善した。また、平成27年12月より、市の取り組みについて周知する事業を行う予定である。

(39) 農業について

農業の後継ぎがない現状が深刻である。所得が少ないことに原因があると思う。所得が増えない限り、新規就農者は増えないと思う。また、TPPにより外国産の食材が入ってくるようになり、年々補助金等も減ってきているので何とかしてほしい。 【11/11 智恵文地区】

回答：久保副市長

TPPの交渉参加に対して名寄市は反対の態度をとっている。名寄市の基幹産業は農業なので、営農が進んでいくように考えたい。TPPに対する要望として受け取りたい。

(40) 市役所の窓口対応について

婚姻届、出産届を提出した際にお祝いの一言くらいはあってもよいのではないか。

【11/11 智恵文地区】

回答：市民課長

貴重なご意見をいただけてありがたい。窓口対応は事務的になりがちだが、言葉を添えるのは大事だと思うので、届出を出してよかったと思える窓口対応としたい。

(41) サンプラー温泉について

サンプラー温泉をもっと立派な施設に改装してはどうか。地方から名寄に観光等で訪れたい人

が増えるのではないか。また、温泉利用者のマナーが悪い。洗い場、サウナの独占等の話を聞くので張り紙等で注意喚起をしたらどうか。【11/11 智恵文地区】

回答：営業戦略室長

昨年、日進地区の活用に関して検討を行った。サンピラー温泉について構想を考え直すこととなり、温浴と宿泊施設について検討中である。平成9年にリニューアルしたが、老朽が進んでいることから、温浴施設についてより専門的な業者にどのような改装を行うと利用度が上がるか調査中である。利用者のマナーについては、名寄振興公社に伝えておく。

(42) 大会誘致について

名寄市は雪質日本一であることを生かして、スキーなどの大会誘致をもっと積極的に行ってはどうか。【11/11 智恵文地区】

回答：久保副市長

要望として承る。

(43) 市の除雪制度について

市の除雪制度を利用する際はまず民生委員に申請して、民政委員が市に届け出を出すことになっているが、民政委員が知らないまま、除雪制度を受けている人がいて困った。地域の民政委員が申請している人をわかるようにしてほしい。【11/11 智恵文地区】

回答：子ども・高齢者支援室長

智恵文地区は連絡協議会で除雪を行ってもらっているが、そのとりまとめを民生委員にお願いしている。ところが、中には自分が対象となるか確認するため市役所にきてそのまま申請する人もいた。現状について原課で話し合いたい。

(44) まちづくり懇談会の要望について

今回のまちづくり懇談会で智恵文地区は智恵文南町内会のみ要望しているが、少ないのではないかと。【11/11 智恵文地区】

回答：総務部長

例年通り、「まちづくり懇談会」の案内を送った。要望がなかった場合、改めて確認するなど、もう少し丁寧に対応するように改善したい。

(45) 市役所内部での情報共有について

智恵文地区町内会連絡協議会の会長をやめているのに未だに連絡が来る。市役所内部で連絡をきちんと行ってほしい。【11/11 智恵文地区】

回答：総務部長

町内会長の変更、情報共有をしっかりとりたいと思う。変更があった場合は企画課から各部署にお知らせしたい。

(46) 基盤整備事業について

今年、智恵文地区で事業を進めるという話をきいたが、どこまで進んでいるのか。

【11/11 智恵文地区】

回答：経済部長

要望の調査を行ったところ、83件もの要望をもらった。これをもとに地区の説明会を行いたい。

(47) 道路排水の雑木処理、智恵文沼・導水路の床浚いについて

線路脇の土砂が崩れ、智恵文沼付近を直している関係で、ポンプアップ施設の掃除を行った。開発局、市、地元で維持管理について話し合える場作ってほしい。

【11/11 智恵文地区】

回答：建設水道部長

具体的にどのような修繕・整備を望まれるのか等、改めてご相談しながら協議の場を持てるようにしたいと思う。

(48) 学校立て替えについて

智恵文地区の学校建て替えについて状況を聞かせてほしい。

【11/11 智恵文地区】

回答：教育部長

現在、風連中央小の基本設計を行っているが、智恵文地区に関しては、中学校の耐震化をしなければならぬので対応したい。智恵文小学校は昭和51年建築で古くなっているが他の学校との兼ね合いもあるので、総合計画の中で議論したい。

(49) くい打ち工事について

現在、報道等で騒がれているくい打ち工事の偽装問題の調査はしているのか。

【11/11 智恵文地区】

回答：建設水道部長

くい打ち工事については、国交省の反応を待って調査を行っていきたい。

(50) 市の対応について

畜産農家への処遇をもう少し手厚くしてほしい。

【11/11 智恵文地区】

回答：久保副市長

いただいたご意見については承る。

(51) 八幡駅前の空き家について

八幡駅前の潰れている家について調査していたが、現在の状況について教えてほしい。

【11/11 智恵文地区】

回答：久保副市長

後ほど回答させていただきます。

(52) 昭和通の速度標識について

昭和通（8号通り）の徳田付近の樹木が大きく茂り、速度標識が見づらくなってきており、特に名寄市外から来た人で違反する人が多いので対応してほしい。 【11/12 豊西小地区】

回答：建設水道部長

市内の木は計画的に整理しており、1年間で市内全部の樹の枝はらい等はできないので、パトロールしながら危険な箇所についてはやっていきたい。

(53) かき分け除雪について

かき分け除雪の改善をお願いしたい。各家庭の玄関先においておかれるが、かいた雪を捨てる場所がなく非効率なので、将来的にはかき分け方式をやめてほしい。高齢者や仕事をもつ若い人にはつらい。 【11/12 豊西小地区】

回答：建設水道部長

現在、名寄市はかき分け除雪であり、除雪車が去った後、雪が玄関先に入ることとなるが、かき分け除雪は効率的な方法であることからご理解・ご協力を頂きたい。また、生活道路の排雪は年1回としており、市民の皆さまにはご迷惑をおかけしている。士別市は跳ね上げて処理を行っているという話や、除雪機械によっては玄関に入らないようにできる機械もあると聞いているが、限られた予算で1年間の除排雪を行っていることから、皆様にはご理解・ご協力いただきたい。除排雪につきましては、市の方で行っている助成もありますのでご活用いただきたい。

(54) EN-RAYホールの看板について

EN-RAYホールの場所を名寄市外から来たからよく聞かれるので、もう少し親切な看板作りをしたらどうか。 【11/12 豊西小地区】

回答：建設水道部長

現在市内にある看板で4基は文化センター、EN-RAYホールの表示をしている。できるだけわかりやすい場所に設置したつもりだが4基は少ないかもしれない。

(55) 街路樹や植樹柵について

錦通の植樹柵、草取り、除草に関し、助成金もらって行っている状況である。町内会として、年に3～4回行っているが、EN-RAYホールに地方から訪れる方がよく通ることもあり、きれいに保ちたい。町内会だけでは限界があるため、市の方でも対処していただきたい。

【11/12 豊西小地区】

回答：建設水道部長

EN-RAYホールができたことで人通りが増えたなど、現状を把握しながら検討していきたい

いが、今の予算では網羅出来ていないので次期総合計画、マスタープラン含め、街路樹や植樹柵について考えていきたい。

回答：橋本副市長

EN-RAYホール回りはいろいろな場所で話題に上がる。現在、議論している最中であり、文化的な街並みの形成について内部で話したい。

(56) ナナカマド公園の樹木について

ナナカマド公園の樹木について。暴風雨で1本折れてしまったので植樹してほしい。

【11/12 豊西小地区】

回答：橋本副市長

予算要求の中で、どこに何を植えるか等考えた上で予算づくりを検討していきたい。

(57) 南小の通学路について

南小の通学路がすべて右側通行となっているが、一部の地域で左側通行の方が安全な箇所もあるので確認してほしい。ハルニレ通は左側の方が安全ではないかと思うので、考えていただきたい。

【11/12 豊西小地区】

回答：橋本副市長

すでに南小学校を通じて要望がきており、警察とも連携しながら行っていきたい。

(58) 道路標識について

風連側からイオンに入るところが2車線になっているが、道路標示が消えており、わかりにくい状況になっているのできちんと表示したほうがいいのか。特に冬が危ないので公安委員会とも相談しながら検討してほしい。

【11/12 豊西小地区】

回答：橋本副市長

公安委員会とも協議し、積極的に行っていきたい。

(59) 町内会案内看板について

町内会案内看板を置いている所が何か所かあるが、消えてほとんど見えなくなっている。設置している所は、有効活用しないのか。

【11/12 豊西小地区】

回答：橋本副市長

所管の部と市民の皆さまと話し合っ決めていきたい。

(60) 新規就農者について

新規就農者が農地を取得する際に、関係団体と連携して農業をやりやすい、いい土地を与えられるようにしたらいいのではないか。また、農業を通じて若い人との交流を行いたい。

【11/13 下多寄・西風連地区】

回答：久保副市長

頂いたご意見について、農業委員会、市、JA、農家等で連携し、新規就農者に対しフォローをしていきたい。

(61) 田んぼダムについて

田んぼダムでは、水田1町につき100トンためられる計算となっており、多寄近辺では賛同してくれている田んぼが2500町あり、忠烈布川付近では、1000町の田んぼが賛成してくれている。将来的には、天塩川、豊栄川も波及させていきたい。最近では、集中豪雨が増えているので、若い世代の人にも認識してほしい。名寄は食糧地帯なので、災害に備えることは必要であると思う。 【11/13 下多寄・西風連地区】

回答：久保副市長

各地域で実践している人もいるので、農家の方々の取り組みを農家の方以外にも広めていきたいと思う。

回答：経済部長

中山間事業でもメインとして取り上げられた。特に、田んぼダムに関しては道内でも先進的であることから、北海道の担当者含め、意見交換を行った。日ごろの活動が評価されたのではないかと思うのでこれからも進めていってほしい。

(62) 市営住宅について

名寄市の市営住宅の改築はずっと続くのか。また、空き家はどれだけあるのか。現在、高齢などを理由に名寄市を離れる人が増えており、名寄市で盆・正月にイベントを行えば若者が来るのではないか。また、高齢者が住み続けられるようにすることも重要であると考えられる。

【11/13 下多寄・西風連地区】

回答：建設水道部長

新北斗・北斗団地を現在改修しており、公営住宅戸数は世帯数の約8%~7%としたいと考えている。

空き家に関しては60戸（年度初め）あり、早い段階で入居できるようにしているが、なかなか進んでいない状況である。

(63) 空き家について

市内に空き家が増えてきており、暴風雨の際に屋根が飛んだりして危険なものや、キツネのすみかとなっている空き家もあるようだ。持ち主がわからない空き家については撤去してほしい。 【11/13 下多寄・西風連地区】

回答：市民部長

12月議会で空き家対策に関する条例を制定することとしており、現在市内に空き家は350戸程あり、そのうち80戸が危険な空き家となっている。現状では空き家は個人の財産なので取り壊すことができない状況である。また、持ち主と連絡が取れない空き家も多く、空き家に対す

る法律が平成26年にできたのでそれに基づいて対応していくこととなるが、取り壊しには100万円以上かかるので、現在協議会を作り、空き家解体の助成制度作るようにしている。

(64) フラワーロードについて

フラワーロード(29線~20線)に、豆リンゴの木を植えているが、現在2割近い木が枯れてしまっているので、サクラを植えたらどうか。また、9月の台風・低気圧により枝が折れてしまい、折れた枝を切るのをボランティアの方々にやってもらったが、切った枝をそのままおいてあるので早く片付けてほしい。

【11/13 下多寄・西風連地区】

区】

回答：建設水道部長

豆リンゴの木の景観については木が大きくなって見通しが悪い等の意見もあった。老木等もそのままだったので折れてしまったものについては対応していきたい。切った木をそのまま置いてあるものについても対処したい。

(65) 水田の面積について

大型水田化が進んだことで、面積が合わなくなっている所もあるのではないかと思う。農業委員会では把握していると思うが、経済部はどれくらい把握しているのか。

【11/13 下多寄・西風連地区】

回答：経済部長

全体的に状況は把握していない。現地確認し、そういう状況あるのか聞いているが、詳しいことはわからない。支障があるものについては聞いている状況である。